

平成 30 年度琉球大学法科大学院  
B 日程（甲方式） 未修者コース 入試問題

小 論 文

平成 29 年 10 月 22 日（日曜日）  
10 時 00 分～11 時 00 分（60 分）

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

- 1 この試験では、問題冊子 1 部、解答用紙 1 枚、下書用紙 1 枚を配布します。  
試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この試験の解答として提出された小論文は、面接の際の資料として用いられます。  
小論文に対する評価は、面接試験の得点の中で評価されます。
- 3 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 4 解答は、必ず解答用紙に記入してください。解答に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号と氏名を記入してください。
- 5 黒色または青色であれば筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 6 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 7 試験終了後、解答用紙を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。  
配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。  
問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 8 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

## 問題

次の【文章】を読んで、〔設問〕に答えなさい。

### 【文章】

(文章については、著作権の関係で、当 Web ページには掲載しておりません。)

(ランドル・コリンズ (井上俊＝磯部卓三訳)『脱常識の社会学〔第2版〕』(岩波書店、2013年) 18頁～19頁より抜粋)

**〔設問〕**

「ただ乗り」に関する著者の意見を踏まえた上で、あなたが「ただ乗り」にあたると思う事例（ただし共用バスの事例を除く）を挙げ、その「ただ乗り」が起きる原因、「ただ乗り」により生ずる問題、およびその問題を解決する対策を1,000字以内で述べなさい。

以 上